

平成 25 年度の活動

◆河川の状況調査◆



水質調査（御嵩町生活学校）

- 水質調査では、増水のため汚れていた。（御嵩町生活学校）
- 水の調査と簡単に考えておりましたが、意義深く真剣に取り組むべき課題と痛感した。（養老町女性会議）
- 夏は藻が張って川が濁っていて汚れていましたが、冬場は藻もなくなり澄んできた。（広幡女性の会）
- 天候により水質は異なり、まだゴミなどをみかける。（大垣市生活学校）
- 自然を守る会と合同で調査。多少ゴミはあったが、きれいな水の水生生物を確認することがほとんどの場所できた。（中津川生活学校）

◆家庭生活で実践したこと◆

<台所>

○流しから調理くず等を流さない。（必須）

- 流し用ゴミネットの利用を心掛けている。（美濃市生活学校ほか）
- 排水口に網目の細かいネット利用。（土岐市生活学校ほか）

○食用油は流さず適正に処理する。（必須）

- 油こしを使い油を使い切るようにした。（可児市生活学校）
- 油を固めて可燃ごみとして出した。（岐阜市立柳津小学校）

○汚れのひどい食器等は洗う前からふき取る。（必須）

- キッチンスクレーパーを使用したり、キッチンペーパーでふいたりした。（海津市高須生活学校ほか）
- 野菜くずでふき取り、有機肥料にリサイクル。（養老町生活と環境を考える会）

○米のとぎ汁をそのまま流さない（任意）

- ・庭木や畑の野菜に肥料としてまく。(美濃市生活学校ほか)
- ・EM菌を使い、植物、トイレ洗いに使う。(広幡女性の会)

○台所の洗剤は適量使用する(任意)

- ・アクリルタワシを使う。(金山生活学校ほか)
- ・適正量を守った。(海津市高須生活学校ほか)

<洗濯>

○洗濯洗剤を適量使用する(任意)

- ・手洗いを小物や少量の時にはする。(大垣市生活学校)
- ・合成界面活性剤の割合が少ない洗剤の使用。(養老町生活と環境を考える会)
- ・お風呂の残り湯の利用。(広幡女性の会ほか)
- ・節水。(可児市生活学校)

<風呂場>

○石鹸、シャンプー、リンスを使いすぎないようにする(任意)

- ・適量を心掛けた。(中津川生活学校ほか)
- ・水で薄めて利用。手作りリンスをつくり利用。(広幡女性の会)
- ・お風呂の残り湯で湯船を洗う。(広幡女性の会)

◆普及啓発活動◆



廃油石鹸の販売(美濃市生活学校)

- ・市の産業祭における固形石鹸販売を行った。(美濃市生活学校)
- ・会員を対象とした「川の水質とごみの問題」についての学習会を世界淡水漁水族館アクア・トトぎふで開催し、身近な川の環境について学び、川をきれいにするために自分たちができる生活排水対策について知識を深めた。学習した内容については、家族や知人、友人に対して啓発した。(羽島中央生活学校)
- ・第14回環境フェスタの「可児市めだかの楽校」展示会場で、来場者にチラシの配布。(可児市めだかの楽校)
- ・こどもエコクラブの親子の参加者に呼びかけた。(天神川を考える会)

清流調査隊取組達成率(N=26)

■ 実施した ■ 実施できなかった

